

2023 年度 健康経営に関する指標の状況について

1. 健康投資施策の取組状況に関する指標関係

- ①定期健康診断の受診率については、育児休業中等により、定期健康診断を受診することができない従業員を除き、100%であった。
- ②ストレスチェックの受検率は、98.4%であった。
- ③平均月間所定外労働時間は、29.7 時間であった。（目標は 30 時間未満）
- ④年間 18 日以上有給休暇を付与されている者について、年間 9 日以上を取得を目標として運営し、対象者の 99.0%が 9 日以上 of 休暇を取得した。（今年度の目標は年間 10 日以上 100%取得）
- ⑤ウェルネス委員会は月 1 回開催し、2023 年 8 月には日本生命健康保険組合より事務長に参加いただき、情報交換を実施した。
（その他に、日本生命健康保険組合とは、毎年、取組方針等に関する協議の場を設定）

2. 従業員の意識変容・行動変容に関する指標

- ①健康診断時の受診票への回答内容を集計した結果、喫煙者率は 2023 年度より 1.8%低下し 4.9%となった。
- ②健康診断時の受診票への回答内容を集計した結果、運動習慣者比率は 2023 年度より 8.5%上昇し 22.7%であった。
- ③ヘルスリテラシーの向上に向け、「ハラスメント防止」「睡眠習慣」「禁煙」「食生活の改善」「メンタルヘルスと女性の健康課題」等をテーマとして、ウェルネス研修を年 5 回実施し、育児休業中等の者を除き、全従業員がこれを受講した。

3. 健康関連の指標

- ①健康診断の結果、BMI が 18.5 以上 25 未満である適正体重者の割合は、62.5%であった。
- ②全従業員を対象に「ウェルネスサーベイ」を実施した結果、全体スコアは 3.59（昨年度比-0.13）。
- ③ストレスチェックにおける高ストレス者率は、16.3%であった。
- ④ストレスチェックと合わせ実施しているワークエンゲイジメント、およびプレゼンティーズムの指標に関する調査（当社独自アンケート）の結果は表の通りであった。

| ワークエンゲイジメント | | | | | | プレゼンティーズム | |
|-------------|--------|------|--------|------|--------|-----------|--------|
| 活力 | 昨年度比 | 熱意 | 昨年度比 | 没頭 | 昨年度比 | | 昨年度比 |
| 2.28 | ▲ 0.02 | 3.24 | ▲ 0.05 | 2.92 | ▲ 0.01 | 3.61 | ▲ 0.04 |

※ワークエンゲイジメント：活力・熱意・没頭に関する 3 項目のスコア（1=ちがう-4=そうだ）の全従業員平均。

※プレゼンティーズム：仕事の実績・量・質に関する 3 項目のスコア（1=50%未満-5=100%以上）の全従業員平均。

※対象者 373 名、回答率 98.4%

⑤アブゼンティーイズムの指標に関する調査（正職員の傷病による欠勤日数の 1 人あたり平均）は、4.5 日（昨年度比+1.2 日）であった。

※対象者 271 名

4. 労働安全衛生に関する指標

労働災害は、2 件発生した（うち通勤災害 0 件）。